

令和7年度

事業報告

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

公益財団法人 日本高等教育評価機構

目 次

I 法人の概況	1
II 項目別事業報告	4
1. 大学等の教育研究活動等の評価事業	4
（1）大学機関別認証評価	4
【令和7年度機関別認証評価】	
① 大学機関別認証評価の実施	
② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑥ 評価のフォローアップに関する事業	
⑦ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和8年度機関別認証評価】	
① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
（2）短期大学機関別認証評価	7
【令和7年度機関別認証評価】	
① 短期大学機関別認証評価の実施	
② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑥ 評価のフォローアップに関する事業	
⑦ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和8年度機関別認証評価】	
① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
（3）ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価	9
【令和7年度分野別認証評価】	
① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価の実施	
② ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
2. 評価に関する調査・研究	10
（1）評価基準等の調査研究	10
① 第3期評価システムの検証	
② 令和7年度評価システムの検証（団長座談会）	

③ 認証評価に関する調査研究報告書の刊行	
(2) 国際関係	10
① 諸外国の質保証機関等との交流促進	
② 国際会議への参加等による情報収集	
3. 当機構の運営機能の充実・強化	11
(1) 評議員会及び理事会	11
(2) 監事監査	11
(3) 会員制度	11
(4) 企画運営会議の開催	12
(5) 評価充実協議会の開催	12
(6) 当機構の自己点検・評価等	12
(7) 職員等の研修の充実	12
(8) ガバナンス体制の充実を図るための自主的な取組み	13
(9) 事務局体制の強化	13
4. 広報及び啓発活動	13
(1) 広報委員会の開催	13
(2) 広報誌等の刊行	13
(3) 情報公開	13
(4) その他の情報発信	14
【附属明細書】	15

令和7年度事業報告

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

平成16年11月25日（財団法人日本高等教育評価機構）
（平成24年4月1日 公益財団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

大学の教育研究活動の状況について評価を行い、あわせて大学の自律的な質の向上及び改善を支援し、もって我が国の大学の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

前記2の目的を達するため、次の事業を行う。

- (1) 教育研究水準の向上に資するために行う大学の教育研究活動等の状況の評価の実施に関する事業
- (2) その他本機構の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 会員の状況

(単位 校)

区分	令和6年度末 (R7.3.31)	退会	入会	令和7年度末 (R8.3.31)
大学	345	3	6	348
短期大学	27	0	1	28
合計	372	3	7	376

6. 事務所

東京都千代田区九段北四丁目2番11号

7. 役員等に関する事項

(1) 役員

(任期 令和6年6月19日から令和8年6月の定時評議員会終結の時まで)

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理事長 (代表理事)	安井 利一	非常勤
副理事長	沢 良子	非常勤
常務理事	伊藤 敏弘	常勤
理 事	青木 二郎	非常勤
理 事	安部 直樹	非常勤
理 事	石田 優子	非常勤
理 事	大野 勲	非常勤
理 事	小出 秀文	非常勤
理 事	清水 一彦	非常勤
理 事	瀬戸熊 修	非常勤
理 事	瀬野 隆	非常勤
理 事	高井 昌史	非常勤
理 事	塚本 英邦	非常勤
理 事	西村 泰志	非常勤
理 事	水戸 英則	非常勤
理 事	三輪 博美	非常勤
理 事	山谷敬三郎	非常勤
監 事	妹尾喜三郎	非常勤
監 事	三田村典昭	非常勤

理事 17人 監事 2人 (令和8年3月末現在)

辞任

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理 事	久光 正	非常勤

(令和7年6月30日辞任)

(2) 評議員

(任期 令和6年6月19日から令和10年6月の定時評議員会終結の時まで)

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	泉屋 吉郎	非常勤
評議員	小野 長門	非常勤
評議員	弦間 昭彦	非常勤
評議員	後藤 泰之	非常勤
評議員	鈴木 勉	非常勤
評議員	高柳 元明	非常勤

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	谷岡 一郎	非常勤
評議員	鶴 衛	非常勤
評議員	苫米地 司	非常勤
評議員	野原 明	非常勤
評議員	畑山 浩昭	非常勤
評議員	福井 一光	非常勤
評議員	福井 直敬	非常勤
評議員	福井 洋子	非常勤
評議員	焼廣 益秀	非常勤
評議員	柳澤 章	非常勤
評議員	六鹿 正治	非常勤
評議員	渡邊 秀俊	非常勤

評議員 18人（令和8年3月末現在）

(3) 顧問

役 職	氏 名	常勤・非常勤
顧 問	黒田 壽二	非常勤
顧 問	石井 正彦	非常勤

顧問 2人（令和8年3月末現在）

8. 職員に関する事項

(1) 職員数等

(単位 人)

職員数	令和6年度末 (R7.3.31)	増員	減員	令和7年度末 (R8.3.31)
計	19	1	1	19

* 研修員数 6人

(2) 管理職職員数（課長・主幹以上） (単位 人)

事務局長	部 長	課長・主幹
1	2 [1]	6

* [] は兼務者（外数）

* (2) は (1) の内数

9. 許認可に関する事項

(1) 登記事項（※日付は届出日）

- ・ 理事の辞任（令和7年7月3日付）

(2) 行政庁等に対する届出等 (※日付は届出日)

- ① 事業報告等の提出 (内閣府) (令和7年6月27日付)
- ② 理事の辞任 (文部科学省) (令和7年7月4日付)
- ③ 定款の変更 (内閣府) (令和7年7月30日付)
(※定款の変更 (法改正対応)、役員の異動及び報酬基準の変更等)
- ④ 事業計画書等の提出 (内閣府) (令和8年3月30日付)

II 項目別事業報告

1. 大学等の教育研究活動等の評価事業

(1) 大学機関別認証評価

大学機関別認証評価は、19校からの認証評価の申請を受理し、各大学が評価基準を踏まえて自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を通じて、教育研究活動等の総合的な状況を評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

また、過年度の認証評価において「不適合」と判定された2校の追評価を実施した。

このほか、認証評価に関する動画 (JIHEE channel) をリニューアルするとともに、「受審のてびき」等を作成した。

【令和7年度機関別認証評価】

① 大学機関別認証評価の実施

ア. 令和7年度認証評価 19校

「適合」18校 (私立)、「不適合」1校 (私立)

イ. 令和7年度追評価 2校

「適合」2校 (私立)

ウ. 事前相談及び事後相談 (随時)

事前相談2校、事後相談3校

・ 認証評価 (五十音順)

適合18校

(私立)

愛知工業大学、秋田看護福祉大学、沖縄国際大学、金沢星稜大学、
亀田医療大学、岐阜医療科学大学、岐阜保健大学、九州医療科学大学、
高知リハビリテーション専門職大学、神戸情報大学院大学、
国際ファッション専門職大学、聖マリア学院大学、東京聖栄大学、
長崎国際大学、ビジネス・ブレイクスルー大学、文化ファッション大学院大学、
山口学芸大学、和歌山信愛大学

不適合1校

(私立)

大阪行岡医療大学

・ 追評価（五十音順）

適合 2 校

（私立）

三育学院大学、広島都市学園大学

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和 7 年 6 月～
・ 実地調査実施（原則 2 日間）	令和 7 年 9 月 18 日～10 月 24 日
・ 意見申立て審査会審議	令和 8 年 2 月 19 日
・ 大学評価判定委員会審議	令和 8 年 2 月 2 日、3 月 2 日
・ 理事会承認	令和 8 年 3 月 12 日
・ 文部科学大臣へ報告	令和 8 年 3 月 13 日
・ 評価結果公表	令和 8 年 3 月 27 日

② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

ア. 大学評価判定委員会（開催 5 回／委員 18 人）

イ. 意見申立て審査会（開催 1 回／審査員 5 人）

ウ. 評価員養成検討委員会（開催 3 回／委員 7 人）

エ. 評価システム改善検討委員会（開催 1 回／委員 10 人）

③ 評価結果報告書の作成等

大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た 21 校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係大学等に評価結果を報告するとともに、令和 8 年 3 月 27 日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解及び認識が必要となる。令和 7 年度大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web 会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

動画視聴	令和 7 年 6 月 9 日～	令和 7 年度評価員	95 人視聴
情報共有実施日	令和 7 年 7 月 1 日、2 日、4 日	令和 7 年度評価員	95 人参加

⑤ 大学・短期大学評価セミナーの開催

「大学・短期大学評価セミナー」は、会場集合と動画配信（ライブ配信及び期間限定でのオンデマンド配信）を併用した形式で開催した。

開催日	会 場	参加者
令和7年4月22日	(東京) アルカディア市ヶ谷	90人

⑥ 評価のフォローアップに関する事業

過年度に「適合」の判定を受けた大学のうち「改善を要する点」として指摘があった31校から合計89件の改善報告を受けた。当機構は、大学から提出された「改善報告書」等が当該大学のホームページで公表されていることを確認し、改善報告等審査会及び大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を大学に通知した。

また、評価のフォローアップとして、大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 改善報告等審査会（開催2回／審査員5人）

イ. 大学への講評・相談の実施（随時）

⑦ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、大学からの依頼に基づき、当機構の役職員を講師として派遣した。

・ 講師派遣事業の実施 10校

【令和8年度機関別認証評価】

令和8年度大学機関別認証評価の申請は、令和7年7月に受理した。

認証評価 25校

【申請大学】（五十音順）

・ 認証評価 25校

（私立）

桜美林大学、岡崎女子大学、岡山医療専門職大学、開志専門職大学、神田外語大学、神戸国際大学、こども教育宝仙大学、サイバー大学、事業創造大学院大学、湘南鎌倉医療大学、情報経営イノベーション専門職大学、田園調布学園大学、東京国際工科専門職大学、東京保健医療専門職大学、長崎総合科学大学、日本文理大学、日本医療大学、日本医療科学大学、八戸工業大学、広島文教大学、びわこリハビリテーション専門職大学、別府大学、明海大学、四日市看護医療大学、SBC東京医療大学

① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和8年度の認証評価を申請した大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改定の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価の

プロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、大学からの依頼を受けて Web 会議システムを利用した個別相談会を実施した。

動画配信日 令和7年8月25日

個別相談会 開催日 令和7年9月12日

参加校数 大学25校

(2) 短期大学機関別認証評価

短期大学機関別認証評価は、2校から認証評価の申請を受理し、各短期大学が評価基準を踏まえて自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を通じて、教育研究活動等の総合的な状況を評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、短期大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

また、認証評価に関する動画（JIHEE channel）をリニューアルするとともに、「受審のてびき」等を作成した。

【令和7年度機関別認証評価】

① 短期大学機関別認証評価の実施

ア. 令和7年度認証評価 2校

「適合」2校（私立）

イ. 事前相談及び事後相談（随時）

事前相談 なし、事後相談1校

・ 認証評価（五十音順）

適合2校

（私立）

長崎短期大学、ヤマザキ動物看護専門職短期大学

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和7年6月～
・ 実地調査実施（原則2日間）	令和7年10月8日～10月17日
・ 短期大学評価判定委員会審議	令和8年1月27日
・ 理事会承認	令和8年3月12日
・ 文部科学大臣へ報告	令和8年3月13日
・ 評価結果公表	令和8年3月27日

② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

ア. 短期大学評価判定委員会（開催3回／委員10人）

イ. 短期大学意見申立て審査会（開催1回／審査員5人）

③ 評価結果報告書の作成等

短期大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た2校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係短期大学等に評価結果を報告するとともに、令和8年3月27日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催（大学と合同開催）

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解及び認識が必要となる。令和7年度短期大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

動画視聴	令和7年6月9日～	令和7年度評価員	6人視聴
情報共有実施日	令和7年7月1日、2日	令和7年度評価員	6人参加

⑤ 大学・短期大学評価セミナーの開催（再掲）

⑥ 評価のフォローアップに関する事業

過年度の認証評価で「適合」の判定を受けた短期大学のうち「改善を要する点」として指摘があった2校から2件の改善報告を受けた。当機構は、短期大学から提出された「改善報告書」等が当該短期大学のホームページで公表されていることを確認し、短期大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を短期大学に通知した。

また、評価のフォローアップとして、短期大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 短期大学評価判定委員会（再掲）

イ. 短期大学への講評・相談の実施（随時）

⑦ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各短期大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、短期大学からの依頼に基づき、当機構の役職員を講師として派遣する事業を行っているが、令和7年度には依頼がなかった。

【令和8年度機関別認証評価】

令和8年度短期大学機関別認証評価の申請受付を令和7年7月に行ったが、申請はなかった。

① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和8年度短期大学機関別認証評価の申請がないため、短期大学を対象とした説明会は実施しなかった。

(3) ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価は、1 専門職大学院（1 研究科）から認証評価の申請を受理し、当該専門職大学院が評価基準を踏まえて自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を通じて、教育研究活動等の総合的な状況を評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、ファッション・ビジネス系専門職大学院評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

【令和7年度分野別認証評価】

① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価の実施

ア. 令和7年度認証評価 1 研究科

「適合」1 研究科（私立）

文化ファッション大学院大学ファッションビジネス研究科

【評価スケジュール】

・書面調査実施	令和7年6月～
・実地調査実施（原則2日間）	令和7年10月1日～10月3日
・ファッション・ビジネス系 専門職大学院評価判定委員会審議	令和8年2月4日
・理事会承認	令和8年3月12日
・文部科学大臣へ報告	令和8年3月13日
・評価結果公表	令和8年3月27日

② ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催

ア. ファッション・ビジネス系専門職大学院評価判定委員会（開催2回／委員7人）

イ. ファッション・ビジネス系専門職大学院意見申立て審査会（開催1回／審査員5人）

③ 評価結果報告書の作成等

ファッション・ビジネス系専門職大学院評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た1研究科の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関等に評価結果を報告するとともに、令和8年3月27日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催（大学と合同開催）

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解及び認識が必要となる。令和7年度ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web 会議システムを利用して評価チームで情報共有を行った。

動画視聴	令和7年6月9日～	令和7年度評価員	5人視聴
情報共有実施日	令和7年7月4日	令和7年度評価員	5人参加

2. 評価に関する調査・研究

(1) 評価基準等の調査研究

令和7年度は、第3期の評価システムの検証を行った。また、第4期の評価システムの運用状況を検証するため、機関別認証評価団長座談会を行った。これらの成果を、必要に応じて今後の評価システムに反映する。

① 第3期評価システムの検証

平成30年度から令和6年度までの第3期認証評価受審校を対象としたアンケートを実施し、認証評価が各大学の改革・改善をはじめとする内部質保証の諸活動に果たす役割などに関する事例調査を行った。

アンケート概要

実施期間 令和7年9月10日～11月14日
対象校数 大学 336校、短期大学 25校
回答(回答率) 大学 202校(60.1%)、短期大学 20校(80.0%)

② 令和7年度評価システムの検証(団長座談会)

第4期評価システムの検証として、評価チームの団長を招集し、受審のてびき及び評価のてびきに関する評価員アンケートに基づき、意見交換を行った。

開催日	会場	参加者
令和7年11月26日	(東京) アルカディア市ヶ谷	18人

③ 認証評価に関する調査研究報告書の刊行

令和5年度から令和6年度に行った調査研究の成果をまとめた「認証評価に関する調査研究」第13号を刊行し、評価充実協議会で参加者に配付したほか、会員校、関係機関、評価員などに献本し、国立国会図書館に納本した。

(2) 国際関係

① 諸外国の質保証機関等との交流促進

海外の評価機関との協力体制を強化するため、令和7年度は協力協定を締結した機関との交流活動に関する検討を行った。

② 国際会議への参加等による情報収集

諸外国の高等教育の質保証の最新動向を把握するために、高等教育の質保証や評価に関わる国際的な機関等に加えするとともに、国際会議等へ適宜参加して、情報の収集に努め、当機構の今後の評価システム改善等の検討材料として活用している。令和7年度は、以下の活動を行った。

・高等教育質保証機関国際ネットワーク(INQAAHE)のINQAAHE Conference 2025に参

加した。

開催日：令和7年5月13日～16日

場 所：赤坂インターシティコンファレンス（東京）

- ・CIQG (CHEA International Quality Group) Webinar に Web 会議システムを利用して参加した。

開催日：令和7年9月10日

場 所：オンライン

- ・アジア・太平洋高等教育質保証ネットワーク (APQN) の 2025 APQN Annual Academic Conference & Annual General Meeting に参加した。

開催日：令和7年11月20日～23日

場 所：ニーナホテルツェワンウェスト（香港）

3. 当機構の運営機能の充実・強化

(1) 評議員会及び理事会

令和7年度の評議員会は6月に1回、理事会は6月に第1回理事会及び臨時理事会、9月に臨時理事会、12月に第2回理事会、翌年3月に第3回理事会の計5回、それぞれ Web 会議システムを利用して開催した。

評議員会	開催日
評議員会	令和7年6月26日

理事会	開催日
第1回 理事会	令和7年6月10日
臨時理事会	令和7年6月19日
臨時理事会	令和7年9月5日
第2回 理事会	令和7年12月18日
第3回 理事会	令和8年3月12日

(2) 監事監査

定款及び規則に基づき、事業報告、財務諸表等及び理事の職務執行状況等について、監事監査を実施した。令和7年5月28日に監査報告書を作成し、第1回理事会及び評議員会において監事が報告を行った。

(3) 会員制度

会員校への情報提供として、評価充実協議会の開催、メールマガジンの配信、機関誌の送付を行った。また、令和7年度に入会した大学6校及び短期大学1校に対して、個別に当機構の評価の特色等の説明を行った。

さらに、会員拡充に向けた取組みとして、非会員校の大学4校及び短期大学1校に対して、当機構の会員制度及び評価システムの概要について訪問説明を実施した。

(4) 企画運営会議の開催

当機構の目的及び将来構想並びに当機構の評価システムの見直し改善及び今後の方向性等に関する具体的な事項について、Web 会議システムを利用して開催した。中央教育審議会大学分科会「教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ」における議論の状況について、文部科学省から説明を受けるとともに意見交換を行った。

- ・企画運営会議（開催1回／委員9人）

(5) 評価充実協議会の開催

認証評価機関として、現状、今後のあり方、更には将来の展望について、会員大学の理事長、学長、事務局長、評価担当者等の大学関係者、その他教育関係者、行政、一般社会人を対象に、教育の質の維持・向上に対する啓発を目的として開催した。令和7年度は、会場集合とライブ配信の併用形式で行った。

- ・講演「高等教育政策の動向－「知の総和」答申を踏まえた認証評価の見直しの方向性－」
講師 鈴木宏幸 文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置・評価室長
- ・報告「当機構の活動状況について」
報告者 伊藤敏弘 常務理事・事務局長
- ・事例発表1「教学マネジメント指針と学修成果の可視化－教職協働による質保証－」
講師 沖永寛子 学校法人帝京平成大学副理事長、帝京平成大学学長
- ・事例発表2「徹底したガバナンス改革に基づく『教育内部質保証の取組み』」
講師 中村佳正 大阪成蹊大学学長

開催日	会場	参加者
令和7年7月8日	(東京)アルカディア市ヶ谷	会場集合 約140人 ライブ配信視聴者数 約1,040人 (関係機関を含む。)

(6) 当機構の自己点検・評価等

当機構の今後の改革・改善に資するため、令和10年度に予定している第3回目の自己点検・評価報告書の作成に向け、実施体制の整備及び実施方針の検討を行った。

- ・自己点検・評価実施委員会（開催1回／委員5人）
- ・自己点検・評価専門委員会（開催1回／委員16人）

(7) 職員等の研修の充実

大学等の職員を当機構へ受入れる「研修員受入制度」について、令和7年度は研修員6人を受入れ、各大学の内部質保証機能の充実・強化、評価業務の円滑な遂行に資する

人材の養成に努めた。

研修の実施については、経験者を含む研修員と職員との合同での職員等勉強会のほか、研修員による研修成果報告会を開催し、職員等の資質能力の向上に努めた。また、課長以下の職員による大学基準協会との合同研修会を企画し、開催した。

併せて、専門的知識の習得のため、評価に関連する勉強会、各種学会及び日本私立大学協会等の関係団体等が主催する研修会への参加や文部科学省各種審議会等の傍聴を行った。

(8) ガバナンス体制の充実を図るための自主的な取組み

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の改正に適切に対応するため、評議員会で定款の変更及び評議員会運営規則の改正並びに理事会で会計処理規程等の改正を行った。

また、個人情報の適切な取扱いを確保するため、関連規程の見直しを行うとともに、プライバシーポリシー及び個人情報保護に関する基本方針を整備し、ホームページにおいて公表した。

(9) 事務局体制の強化

当機構の職員の資質・能力向上に資する人事評価等のあり方について、令和6年度に策定した「日本高等教育評価機構の使命・理念・行動指針」及び改正した就業規則等を踏まえ引続き検討し、試行の準備を進めた。また、職員を会員校等に派遣し大学の業務を経験することにより、職員の資質能力の向上に資する「大学業務実務研修」について、令和8年4月1日から1年間で実施するための準備を行った。

4. 広報及び啓発活動

(1) 広報委員会の開催

当機構の今後の広報活動の充実を図るため、ホームページの多言語対応や新たな広報戦略などについて、Web会議システムを利用して開催し、審議した。

- ・ 広報委員会（開催1回／委員8人）

(2) 広報誌等の刊行

認証評価機関としての活動状況及び評価結果を公表するとともに、評価の意義、内容、手続き等について、大学関係者をはじめ一般社会に広く理解を得るため、広報誌等を刊行し、会員校、関係大学、関係機関等へ送付するとともに、ホームページで公表した。

- ・ 機関誌 PeeR（ピア）第20号 令和7年7月 5, 500部
- ・ 英語版パンフレット 令和7年7月 4, 000部

(3) 情報公開

評価結果変更の公表、認証評価三機関による文部科学省への提言書、各種マニュアル

等を適宜ホームページに掲載した。

(4) その他の情報発信

委員会の開催状況や評価に関する事業の紹介など、メールマガジンで会員校及び評価員等へ積極的に発信した。

また、教育学術新聞（日本私立大学協会発行）へ「日本高等教育評価機構だより」を掲載した。

- ・メールマガジンの配信 毎月末1回 配信先 約2,000件
- ・教育学術新聞への掲載 令和7年4月～令和8年3月 5回掲載
（主な内容：第3期認証評価の検証、第4期認証評価制度の展望、APQN 年次会議参加報告等）

【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

以上